

病院

西部地区を中心に、17病院で壁の亀裂、水道管・窓ガラスの破損等の被害が生じるとともに、震源地に近い医療機関が、停電、断水等により一時機能停止状態となった。よって、多数の患者を他の医療機関に転院させる必要が生じたため、3病院（日野、西伯、済生会境港総合病院）の入院患者188名について、鳥取大学附属病院他に受入要請を行い転院の措置をとった。

病院の被害状況

市町村名	病院名	被害の状況
日野町	日野病院	受水槽に亀裂、壁の一部タイル崩れなど
西伯町	西伯病院	天井水漏れ、外壁・廊下・床等に亀裂など
岸本町	大山リハビリテーション病院	建物数力所に亀裂など
日南町	日南病院	外壁・廊下・床等に亀裂など
溝口町	溝口中央病院	建物数力所にひび割れなど
米子市	鳥取大学医学部附属病院	病棟～第二診療等の渡り廊下の一部亀裂、壁一部落下
	博愛病院	水道管破裂、外壁・廊下・床等に亀裂など
	米子中海病院	廊下・床等に亀裂など
	山陰労災病院	壁等に亀裂など
	高島病院	高層棟屋上、外部周りの外壁に亀裂など
	医療法人勤誠会米子病院	水道管破裂、病理棟と病棟及び病棟接続部の亀裂など
	広江病院	柱・壁・床のひび割れなど
	皆生温泉病院	貯水槽破損、エレベータ停止、ひび割れなど
境港市	鳥取県済生会境港総合病院	旧外来棟・東病棟に亀裂など
	医療法人元町病院	外来棟・手術室等にひび割れなど
倉吉市	谷口病院	建物の一部に亀裂
信生病院	電気設備停止	

メンタルケア

震災後の住民に対する健康相談やメンタルケアに対応するため、健康福祉センター（保健所）、精神保健福祉センター、県立病院・市町村等の医師、保健士、看護士等が様々な取り組みを行った。また、鳥取大学医学部、国立療養所鳥取病院、鳥取県精神科病院協議会の協力を得て、メンタルケア相談を実施した。さらに、民生委員、福祉関係職員も高齢者・障害者等に対し、福祉相談に取り組んだ。

また、被害の大きかった地域や県道の通行止が続く地区については、市町村と連携を図りながら継続して健康相談等を実施した。

実施概要	実績等
避難所、高齢者・障害者等の家庭訪問による健康相談・生活指導等を実施	延305人を派遣し、避難所巡回延べ129箇所、家庭訪問延べ1,200件
地元要請により米子市安倍彦名地区の住民健康相談を実施	31件
高齢者、障害者等に対する福祉相談を実施	延べ90人を派遣
西部健康福祉センターに電話相談窓口を設置。個別訪問指導も実施	巡回相談73件、電話相談131件
西部健康福祉センター及び日野地域保健福祉部に電話相談窓口を設置。個別訪問指導も実施	相談件数50件
精神保健福祉センターの医師、心理判定員等による相談対応（西部健康福祉センターで実施）	9件
西伯郡内を対象に児童相談所の心理判定員等による相談対応（西伯小学校に設置）	電話相談2件、来所相談11件
西伯郡内を対象に児童相談所の心理判定員等による相談対応（西伯プラザ（土、日のみ開設）に設置）	
相談対応者に対する精神保健福祉センター所長によるメンタルケア対応に関する講義等	
4種類のリーフレットを作成し保育所などの関係機関に配布	
鳥取県保険事業団による日野町、溝口町、西伯町、米子市職員の健康診断、健康相談等を実施	87人
鳥取県臨床心理士会による「震災による教職員・役所職員等援助者のための過労防止ホットライン」の設置	1件



被災者を訪問し、相談を受け付ける警察コスモス隊

学 校

公立学校で被害を受けたのは、高等学校20校、中学校27校、小学校76校、養護学校4校、幼稚園4園の合計131校であった。なかでも、会見小学校では校舎の柱に多数の亀裂が入り半壊状態となるなど、大きな被害を受け、そのほかの公立学校でも校舎外壁の剥離・亀裂、窓ガラスの破損等の被害があった。この地震による施設被害及び児童生徒への影響は甚大で、地震の翌日の10月7日には県西部を中心に97校が臨時休校の措置をとり、全ての学校が授業を再開したのは10月16日のことであった。

また、私立学校においても、校舎・園舎等に亀裂が入ったものが多かったが、中には地盤の液状化、沈下に伴う陥没があり、被害を大きくしたのもあった。

児童生徒の被害はなかったが、10月7日は米子市内の高等学校3校が臨時休校の措置をとり、幼稚園についても休園、自由登園の措置をとった園があるなど大きな影響があった。

公立学校の休校状況

区分	7日(土)	10日(火)	11日(水)	12日(木)	13日(金)	16日(月)
小学校	60	12	7	3	3	0
中学校	23	4	2	1	1	0
盲聾養護学校	4	0	0	0	0	0
高等学校	10	2	2	1	0	0
計	97	18	11	5	4	0



取り壊される被災住宅

廃棄物処理

この地震では、居住が困難で二次災害の危険もあり解体せざるを得ない被災家屋が多数発生したため、生活環境保全の観点から市町村が被災家屋等の解体を行った。これについては、国庫補助事業の対象とならないため、県において補助を行った。

また、解体した家屋から木くず・がれき等の廃棄物や壊れた陶器等の不燃物が大量に発生したため、臨時収集を行い、処理を行った。これは、災害廃棄物処理事業費補助金を受け、市町村が実施した。

災害廃棄物処理事業費

(単位：円)

市町村名	総事業費	国庫補助関係			県補助関係				市町村負担額
		総事業費	基本額	交付決定額	総事業費	県補助金		計	
						解体費	処分費		
米子市	578,582,482	283,370,729	274,416,000	137,208,000	295,211,753	129,585,000	18,020,000	147,605,000	293,769,482
境港市	749,847,637	433,970,605	412,533,000	206,266,000	315,877,032	135,014,000	22,924,000	157,938,000	385,643,637
西伯町	329,434,607	114,879,708	99,855,000	49,927,000	214,554,899	83,170,000	24,107,000	107,277,000	172,230,607
会見町	147,844,958	81,310,460	72,464,000	36,232,000	66,534,498	33,267,000	0	33,267,000	78,345,958
岸本町	32,074,712	12,572,066	12,570,000	6,285,000	19,502,646	8,928,000	823,000	9,751,000	16,038,712
日吉津村	1,596,154	980,303	980,000	490,000	615,851	307,000	0	307,000	799,154
日南町	37,889,500	14,613,500	13,957,000	6,978,000	23,276,000	11,337,000	301,000	11,638,000	19,273,500
日野町	693,493,677	396,767,633	366,552,000	183,276,000	296,726,044	100,715,000	47,648,000	148,363,000	361,854,677
江府町	27,590,585	11,708,091	9,628,000	4,814,000	15,882,494	6,866,000	1,075,000	7,941,000	14,835,585
溝口町	407,297,357	202,292,628	152,130,000	76,065,000	205,004,729	75,474,000	27,028,000	102,502,000	228,730,357
計	3,005,651,669	1,552,465,723	1,415,085,000	707,541,000	1,453,185,946	584,663,000	141,926,000	726,589,000	1,571,521,669